

## 最も心に響いたアドバイスは、「上司」の一言。

— 「[en]チャレンジ!はた☆らく」ユーザーアンケート集計結果 —

人材採用・入社後活躍のエン・ジャパン株式会社（本社:東京都新宿区、代表取締役社長:鈴木孝二）が運営する、アルバイト、派遣、正社員の求人情報をまとめて探せる求人サイト「[en]チャレンジ!はた☆らく」（<http://hb.en-japan.com/>）上でサイト利用者1,530名を対象に「心に響いたアドバイス」についてアンケートを行いました。以下概要をご報告します。

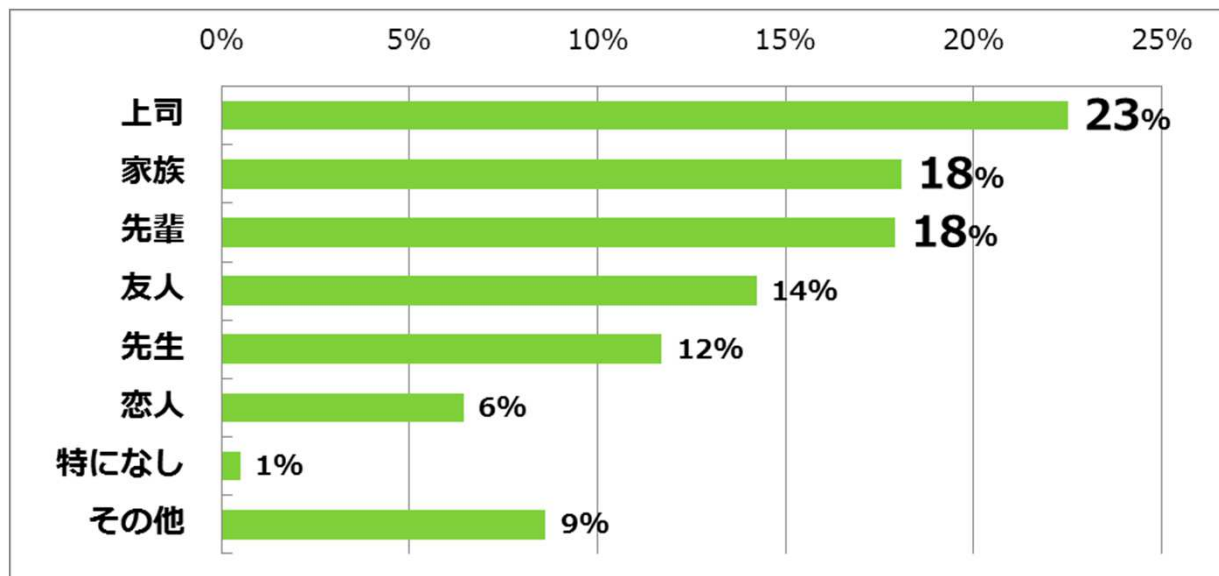
### ■ 調査結果概要

出会の季節から3ヶ月。新しい環境にも慣れて、余裕が出てくると、様々な心配ごとが頭をよぎる頃でしょうか。今回の調査では、今までの「最も心に響いたアドバイスをくれた人」、その人にまつわるエピソードを伺いました。一番多くあがったのは「上司」（23%）。同率第2位は「家族」「先輩」（18%）でした。上司からは仕事の能力を高めるためだけではなく、人と接する上での考え方、意識転換の方法など多岐にわたるアドバイスを受けたという声。「上司」「家族」「先輩」のように、自分より豊富な人生経験を元にしたアドバイスは、長く心に響いているようです。

### ■ 調査結果詳細

最も心に響いたアドバイスをくれた人、第1位は「上司」（23%）。  
第2位は、同率で「家族」「先輩」（18%）。（図1）

【図1】最も「心に響いた!」と感じたアドバイスは、誰からもらったものですか？



上司・家族・先輩からアドバイスを受けた状況や言葉、その後の気持ち・行動にどんな変化があったか伺いました。その場だけではなく、随所で思い返し、自身の指針となっているようです。

【上司】

▼アドバイスを受けた状況・言葉

▼その後の変化（行動・気持ち）

28歳

-年上の後輩指導、仲間の退職、家族の不幸など  
困難の連続に参っていた時-

あなたに越えられない壁はおとずれない。  
必ず乗り越えられるし、乗り越えたあなたは  
もっと素敵で大人になっているはず。

悲しいことや達成できなくて悔しいことは  
続きましたが、絶対に乗り越える！という  
**前向きな気持ち**になりました。今思えばそ  
の頃が社会人になってから一番充実してい  
た時期だと思うことができます。

21歳

-他の人と比べて自分の接客スキルの  
低さに落ち込んでいた時-

そうやって悩むことが、お客さまのことを  
真剣に考えているということだ。  
頑張っている姿をみんな知っているから、  
自信持ってやりなさい。

他人と比べるのではなく、  
**自分なりのやり方**で、できることを精一杯  
取り組むようにしました。日々の勉強を怠  
らないことももちろん。自分が暗くてはお  
客さまにも楽しんでもらえないので、胸を  
張って明るく笑顔を忘れず接客するよう  
に心掛けるようになりました。

23歳

-会社のプロジェクト会議で、  
私の描いたイメージスケッチを  
プレゼンで使おうという話になり-

絵が上手いのは武器になるのだから、  
積極的にアピールするといひよ。

引っ込み思案で、自分の意見をいえない  
私でしたが、この言葉をきっかけに  
**自分の長所はアピールすべきだ**と考えを変  
え、採用されなくとも積極的にアイディア  
を出すようになった。

28歳

-新人育成の愚痴を言った時-

自分の常識が世の中全員の常識じゃない。  
1言えば10わかる人もいるかもしれない。  
でも、9まで言っても10を言わないと  
わからない人もいる。

出来る人は出来ない人の気持ちが  
わからないんだよ。  
わからなくてもいいけど、  
理解しようと思ってあげて欲しい。  
歩み寄ってあげて欲しい。

自分がすごく上から目線になっていたんだ  
なということに気付き、とても恥ずかしく  
なりました。きっと新人からも質問をしづ  
らい空気を出していたのだと思います。

**誰もが最初は何も出来なかった**のに。  
今でも他人と接する時に思い出します。

## 【先輩】

▼アドバイスを受けた状況・言葉

▼その後の変化（行動・気持ち）

29歳

-仕事でミスをしてしまった時-

〇〇のおかげで、こういう時にはこうすればいいんだと教訓ができた。失敗したことは悔しいと思うけど、気を落とさず勉強代と思えばいい。これからも挑戦していこうな！

失敗したことを一切責めずに、みんなの勉強になった。**頑張ってるからその失敗もある**と励ましてくれたことが意外で驚きました。次も頑張ろうという気持ちになれました。

33歳

-大学時代、部活のチームワークが乱れ、辞めよう！！と思っていた時-

何かを始めるのは簡単だし、辞めることも簡単。一番難しい事は、続けることだ。

この言葉を言われて、「辞める」ことを今一度、考え直しました。先輩に、**続けることの重要性**をたしなめられ、すごく励みになりました！あのころの先輩に感謝しています！続けることは、難しいけど、今の社会人生活に、生きています！！

## 【家族】

21歳

-小学生の頃にとっても嫌いな男子と席替えで隣の席になり、嫌がっていた時に母から-

嫌いと思うから相手に嫌われる。好きだと思えば相手に好かれる。

席を動かした直後「よろしくね」と声をかけたら、その子も「よろしく」と言ってくれました。今でも母の言葉は常に私の中心にあり、**接することが難しいと感じた相手には、好意を示します**。すると相手は好意を返してくれるのでとても嬉しいです。

22歳

-就職活動中に、自分のしたい事をするか就職活動を優先するかで悩んでいた時-

今が一番若い。どんな時も、今が一番若いのだから、何をするにも遅いことはない。自分の心に従って後悔しない決断を。

この言葉を思い出して、後悔しないような決断をすることが出来たと思います。これからもやりたい事があっても、**始めるには遅いと思う様な事がなくなった**と思います。今が一番若いという言葉のおかげで、毎日を有意義に過ごせる様になりました。

### 【調査概要】

- 調査方法：インターネットによるアンケート
- 調査対象：「[en]チャレンジ!はた☆らく」利用者 1,530名
- 調査期間：2014年4月24日～2014年5月28日

本ニュースリリースに関する問合せ先

広報担当：森本

<http://corp.en-japan.com/>

エン・ジャパン株式会社

〒163-1335 新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー

TEL：03-3342-4506 FAX：03-3342-4507 MAIL：en-press@en-japan.com